

自在なアレンジで、使えて過ごせる、新発想「反転フロアボード」。

荷物を積んで目的地まで運ぶ。それがカーゴルームの役割です。しかし、フリードスパイクの場合は、それだけではありません。荷室としての機能性はもちろん、目的地に着いてからの機能性にもこだわりました。フロアの隅まで有効に使えながら、さらに荷物の大きさや量に応じてフロアの高さを変えられること。しかも、遊びの途中でひと休みしたり寝そべったりできる、まるで「部屋の床」のような広くてフラットなフロアが出現すること。そんな発想から生まれたのが、「反転フロアボード」です。フリードスパイクを拠点に、遊びの世界が大きく広がります。



荷物の大きさや量に応じて、左右で反転させて高さを変えられるフロアボード。

前後に180度回転させることでカーゴルームのフロア高を変えられる、反転フロアボード。左右で分割されているので、荷物の大きさや量によって使い分けすることができます。反転操作はグリップに手をかけ、ボードの片側を持ち上げるだけでスムーズに行えます。

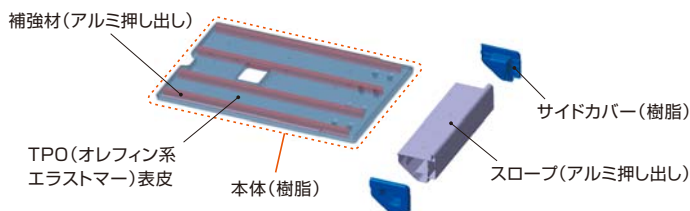


グリップ付で持ち上げラクラク。



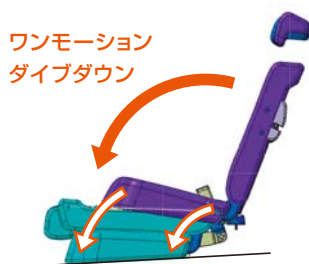
樹脂材とアルミ材で、軽さと高強度を両立。

反転フロアボードには樹脂材を使用したうえで補強材を施しました。また、アルミ押し出し材による三角形のスロープを設置することで、軽量でありながらフロアを高い状態にした時でも高強度を発揮。重量は左側4.7kg・右側2.7kgの軽量を実現しています。 数値はHonda測定値



リアシートをダイブダウンさせることで、寝て過ごすこともできる広くてフラットなフロアを実現。

カーゴルームをさらに大きく使えるように、リアシートには6:4分割可倒式を採用し、前方へワンモーションで倒せるダイブダウン機構を持たせました。そのうえでシート背面を薄くフラットな形状にし、倒した時の平坦面が反転フロアボードの高床状態やスロープ上端と同じ高さになるよう工夫を施しています。また、シートクッションには体圧を分散させるバネ構造を採用するなど、形状を薄くしながらも快適な座り心地が得られるシートとしています。



ワンモーションダイブダウン

■リアシートダイブダウン状態



反転フロアボードとリアシートの左右アレンジで、多彩な空間を実現。

左右で高さを分割できる反転フロアボードと、左右6:4で分割可倒できるリアシート。このふたつの分割ラインを一直線に設定しました。これにより、フロアボードの左右と高さ、リアシートの左右、さらには助手席シートの可倒を合わせることで、多彩なアレンジが可能です。

【主なアレンジ】

- フルフラットモード:反転フロアボードを左右とも高床状態にし、リアシートを左右ともダイブダウン。段差や凹凸がなく、人が寝て過ごすスペースとしても活用できます。
- フルスロープモード:反転フロアボードを左右とも低床状態にし、リアシートを左右ともダイブダウン。大きさの違う荷物などを、なだらかな段差を利用して積載できます。
- 片側スロープモード:片側の反転フロアボードを低床状態にし、同じ側のリアシートをダイブダウン。自転車などを積み込む際に活用できます。左側なら2台積載可能です。



フルフラットモード



片側スロープモード



フルロールモード



フルスロープモード



ロング+フルフラットモード